

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-66486  
(P2000-66486A)

(43) 公開日 平成12年3月3日 (2000.3.3)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	FI	FI	FI	テームト* (参考)
G03G 15/02	102	G03G 15/02	102			2H003
21/00	398	21/00	398			2H027
H02M 3/28		H02M 3/28		J		5H730

審査請求 未請求 請求項の数 6 FD (全7頁)

(21) 出願番号 特願平10-253299  
 (22) 出願日 平成10年8月24日 (1998.8.24)

(71) 出願人 000006747  
 株式会社リコー  
 東京都大田区中馬込1丁目3番6号  
 (72) 発明者 とく 永 篤郎  
 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式  
 会社リコー内

Fターム (参考)

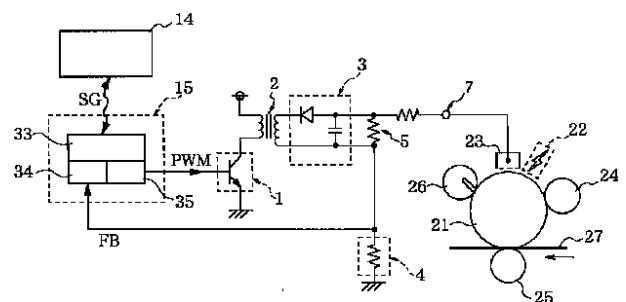
2H003 BB11 CC01 EE12 EE18  
 2H027 EA01 EA18 ED03 ZA01 ZA09  
 5H730 AA04 AA20 AS00 BB43 BB57 DD02  
 EE02 EE07 FD31 FF09 FG05 XX03 XX15  
 XX23 XX35 XX42

(54) 【発明の名称】 画像形成装置

(57) 【要約】

【課題】 少ない部品点数でもバイアス電圧をコトロンに供給できる電源装置を備えた画像形成装置を提供する。

【解決手段】 整流平滑回路 3 の出力端 7 に並列に接続された抵抗 5 を有する電源装置から、電子写真プロセス部における少なくとも帯電装置 2 3 に電力を供給すると共に、シーケンス制御部 1 4 により前記電源装置及び前記電子写真プロセス部の制御を行う画像形成装置において、前記電子写真プロセス部において画像形成が可能であるように前記シーケンス制御部 1 4 が前記電子写真プロセス部の制御を行う時、前記電子写真プロセス部において画像形成を可能にする定電流を前記出力端 7 に出力する制御を前記電源制御部 1 5 は前記電源装置に実施し、前記電子写真プロセス部に画像形成ができないように前記シーケンス制御部 1 4 が前記電子写真プロセス部の制御を行う時、前記出力端 7 に電流が出力されずバイアス電圧のみを出力する制御を前記電源制御部 1 5 は前記電源装置に実施する。



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-190067

(P2001-190067A)

(43) 公開日 平成13年7月10日(2001.7.10)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
H02M 3/28

識別記号

FI  
H02M 3/28

J  
H

テームト<sup>\*</sup>(参考)  
5H730

審査請求 未請求 請求項の数 4 0L (全8頁)

(21) 出願番号 特願平11-374867  
(22) 出願日 平成11年12月28日(1999.12.28)

(71) 出願人 000006231  
株式会社村田製作所  
京都府長岡京市天神二丁目26番10号  
(72) 発明者 筒井 寛  
京都府長岡京市天神二丁目26番10号  
株式会社村田製作所内  
(72) 発明者 加藤 岳彦  
京都府長岡京市天神二丁目26番10号  
株式会社村田製作所内  
Fターム(参考)  
5H730 AA02 AS01 AS02 BB23 BB43 BB57  
EE02 EE07 EE73 FD01 FD21 FD51 FG24  
W03 XX12 XX23 XX32 ZZ01

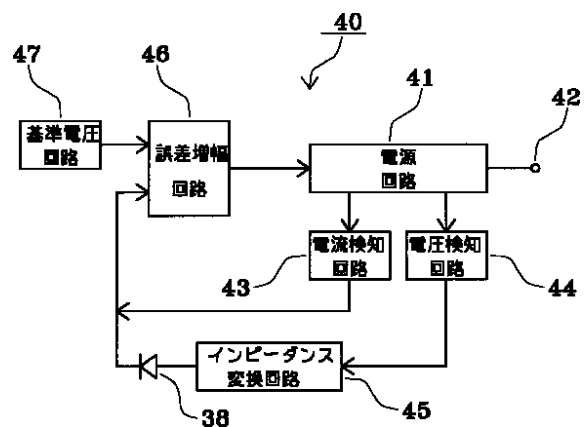
(54) 【発明の名称】 高圧電源装置およびそれを用いた電子装置

(57) 【要約】

【課題】 定電圧動作と定電流動作の切替時にオーバーシュートの出ない電源装置を提供する。

【解決手段】 電源回路41に電流検知回路43と電圧検知回路44が接続され、電流検知回路43の出力が誤差増幅回路46の比較電圧入力端子に接続されるとともに、電圧検知回路44の出力がインピーダンス変換回路45を介して、同じく誤差増幅回路46の比較電圧入力端子に接続されている。誤差増幅回路46の基準電圧入力端子には基準電圧回路47が接続されている。そして、誤差増幅回路46の出力は電源回路41に接続されている。

【効果】 電流検知回路と電圧検知回路の両方が常に動作しており、定電流動作と定電圧動作が瞬間的に切り替わるため、定電流動作と定電圧動作の切り換えの反応の遅れによってオーバーシュートが発生することがない。また、定電圧動作時の電圧値が変動しない。



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-251854  
(P2001-251854A)

(43) 公開日 平成13年9月14日(2001.9.14)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F1	テマコード <sup>*</sup> (参考)
H02M 3/28		H02M 3/28	J 4D054
B03C 3/68		B03C 3/68	Z 5G065
H02J 1/00	306	H02J 1/00	306 F 5H730

審査請求 未請求 請求項の数 1 0L (全5頁)

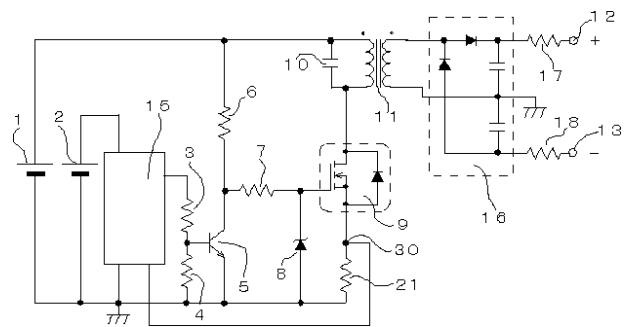
(21) 出願番号	特願 2000-58120(P2000-58120)	(71) 出願人	000109093 ダイヤモンド電機株式会社 大阪府 大阪市淀川区塚本1丁目15番27号
(22) 出願日	平成 12年3月3日(2000.3.3)	(72) 発明者	大槻 敦 大阪市 淀川区塚本1丁目15番27号ダイ モンド電機株式会社内
		(72) 発明者	石田 泰二 大阪市 淀川区塚本1丁目15番27号ダイ モンド電機株式会社内 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】高電圧発生装置

(57) 【要約】

【課題】 静電式空気清浄機等の高電圧発生装置の集塵機能において、電源電圧の変動による集塵量の変動やオゾン発生量の増大、長時間使用による電極の汚れによる集塵能力の低下による劣化を防止する高電圧発生装置を提供する。

【解決手段】 直流電源と、当該直流電源は高電圧発生用トランスの一次側に、他端は第2のスイッチング素子に接続され、当該高電圧発生用トランスの二次側には高電圧発生用端子を設け、デジタル信号を制御する制御回路と、当該信号を増幅する第1のスイッチング素子と、第2のスイッチング素子に電流検出部を設け、制御回路にフィードバックしたことを特徴とする高電圧発生装置。



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-134810  
(P2003-134810A)

(43) 公開日 平成15年5月9日(2003.5.9)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	テ-マコ-ド* (参考)
H02M 3/28		H02M 3/28	C H J 2H027 5H730
G03G 21/00	398	G03G 21/00	398

審査請求 未請求 請求項の数 12 0L (全24頁)

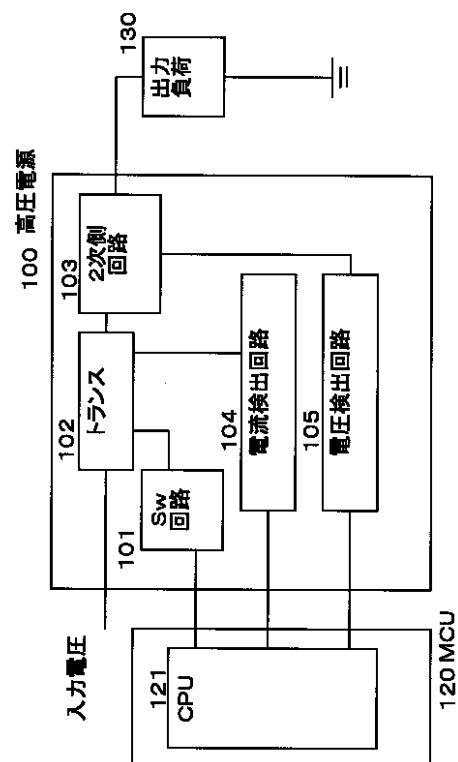
(21) 出願番号	特願 2001-329033 (P2001-329033)	(71) 出願人	000005496 富士ゼロックス株式会社 東京都港区赤坂二丁目17番22号
(22) 出願日	平成13年10月26日(2001.10.26)	(72) 発明者	小野 芳弘 神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社海老名事業所内
		(74) 代理人	100086531 弁理士 澤田 俊夫 (外2名)
		Fターム(参考)	2H027 DA01 DA03 DA50 EK13 5H730 AA04 AS00 AS01 AS02 BB43 BB57 DD02 EE06 EE59 FD01 FD31 FF09 FG05 FG12 FG22

(54) 【発明の名称】 電源装置および出力制御方法

(57) 【要約】

【課題】 使用環境の変化、負荷条件の変化する場合においても、装置の破損、処理エラーを防止した安定した制御を可能とする電源装置を提供する。

【解決手段】 電流検出回路から取得する2つの離間したモニター値に応じて、2つの異なる制御処理を選択的に切り替えて実行する。例えば、定電圧制御処理と定電流制御処理を適用し、制御対象の負荷の目標電流値(定電流閾値)以上の電流が流れたことを検出した場合、その目標電流値(定電流閾値)より大きな値を制御目標電流値(定電流制御値)とした定電流制御を実行し、定電流制御間に、電流がその制御対象の負荷に対して予め定められた目標電流値以下となった場合に定電圧制御に復帰する構成としたので、定電流制御時に定電圧制御への行き来が頻繁に行なわれることなく安定した制御が可能となり、装置の破損や処理エラーの発生が防止できる。



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-189611

(P2003-189611A)

(43) 公開日 平成15年7月4日(2003.7.4)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	ターム(参考)
H02M 3/28		H02M 3/28	J E 5H730
3/338		3/338	A

審査請求 有 請求項の数 8 0L (全13頁)

(21) 出願番号 特願 2001-377493(P2001-377493)  
 (22) 出願日 平成 13年12月11日(2001.12.11)

(71) 出願人 391009372  
 ミドリ安全株式会社  
 東京都渋谷区広尾5丁目4番3号  
 (72) 発明者 今中 光三  
 東京都渋谷区広尾5丁目4番3号 ミド  
 リ安全株式会社内  
 (74) 代理人 100090273  
 弁理士 國分 孝悦  
 Fターム(参考)  
 5H730 AA02 AS00 AS02 AS04 BB23 BB55  
 DD02 DD22 EE06 EE59 FD08 FD31 FG01

(54) 【発明の名称】 電源回路

(57) 【要約】

【課題】 低周波の発振、分数波の発振、間欠発振などの異常発振が起こりにくい定電流制御を行える電源回路を提供する。

【解決手段】 負荷 18 に流れる電流が基準値以上になった時、その時以降に負荷 18 に流れる電流値に対応する信号 S1 を、ダイオード D9 を介してコンデンサ C11 に蓄積し、コンデンサ C11 に所定の電荷が溜まってからトランジスタ Q4 をオンすることにより、発振を起こすためにスイッチング動作を行うトランジスタ Q3 のベース電流を抑制し、高圧トランス 4 に蓄積されるエネルギーを一定にする。

